

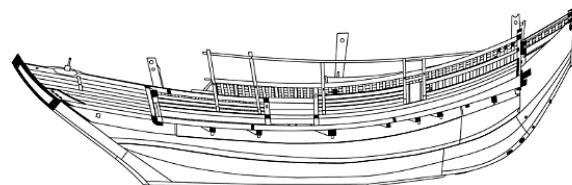
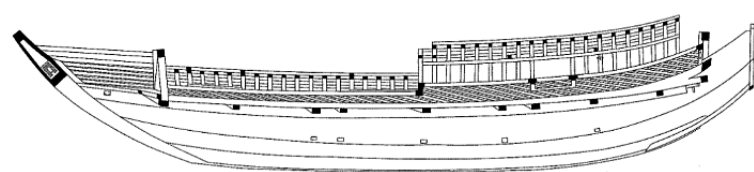
# 雛型から見た

■講師:小嶋 良一

# 弁才船船型要素の時代的変遷

2021年5月22日(土) 14:00~16:00

Zoomにて開催(ルームオープン 13:30) 参加費無料



堺市博物館菱垣廻船1/10 雛形(元禄5(1692)年)

東京国立博物館薩摩形1/20 雛形(明治19(1886)年)

江戸から明治にかけての海運で大きな役割を担った弁才船(べざいせん)、いわゆる千石船は時代とともにその船型を変えていきました。

今回、どの船型要素が時代とともに変化していったのかを国内に現存する弁才船の雛形計測の結果から統計的・定量的に調査検討した結果を報告します。重回帰分析の手法によって、船型要素のパラメータから製作年代が推定可能か否かも探ってみました。

くわえて、雛形の主要寸法といくつかの木割書から得られるそれらについて比較し、その妥当性について検討した結果も報告します。

■小嶋 良一(こじまりょういち)  
日本海事史学会会員

昭和23年東京生まれ。昭和49年に日立造船(株)に入社。以後各種船舶や海洋構造物の設計に従事。現在は関西設計(株)顧問、日本船舶海洋学会ふね遺産認定実行委員会委員長。大阪市海洋博物館「なにわの海の時空館」(閉館中)の菱垣廻船「浪華丸」の復元設計を担当。また船の科学館叢書「徳島城博物館阿波藩御召鯨船『千山丸』」や「雛型から見た弁才船(上・下)」(安達裕之著)の調査・計測図作成も担当した。

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。  
※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。  
お申込みいただいた方には5月19日(水)までにご連絡いたします。
- 会員にはメールでご案内をお送りしています。  
メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■申込〆切:2021年5月18日(火) 正午(12:00)

■申込先:ofune@babit.info 大野康世

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み(非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の開催予定日:6月19日(土)・7月25日(日)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回)／総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など\*

\*2020年2月より東京駒場の会場での総会・例会は中断していますが、オンラインでのWeb例会を月1回開催しています。

